

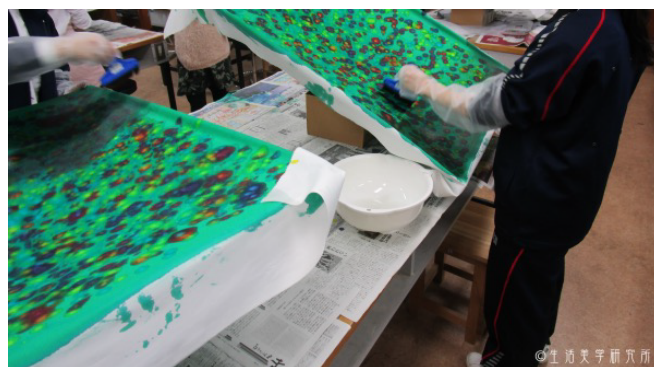
お知らせ

美研工房 2 日目 ―布への染織―

美研工房とは、日頃研究所でしている研究内容を学生に還元するために今年度から武庫川女子大学特別学期特別教育科目として講義をしました。本研究所の助手である前川多仁（染織）、泊里涼子（木工）、和泉志穂（縫製）が講師となり、「木製スプーンとスプーンケースをつくってエコライフ」題し、2016年2月15日（月）～17日（水）の3日間連続講義をしました。2日目の2月17日（火）は前川多仁により、スプーンケースとなる布への染織をしていきました。最初に布を伸子と呼ばれる竹の先に針のついた棒を2本使って布を張ります。張った布を固定させ、下地になる色を刷毛で塗っていきます。布が乾くまでの間に前川が染織の歴史について、色の反応、染織作家としての活動内容について講義し、実際に作品を見ていきました。



布が乾き、次は染料を注射器で吸い取り、布に模様をつけていきます。



出来たら乾くのを待ち、アルカリ助剤を塗っていきます。
これを行うことで染料が染まります。

15分ほど経ったら、水で流していきます。よく落としていきます。よく絞り、新聞紙を下に敷きアイロンを使って水分を取っていきます。乾かして完成です。素敵な模様の布がたくさん出来ました。3日目はこの布を使っていよいよスプーンケースを作ります。

